

東証プライム 4636

# 2022年3月期 決算説明資料

株式会社T&K TOKA T&K TOKA CO., LTD.

2022年5月25日



## T&K

## TOKA

Technology & Kindness 技術とまごころ

経営理念である

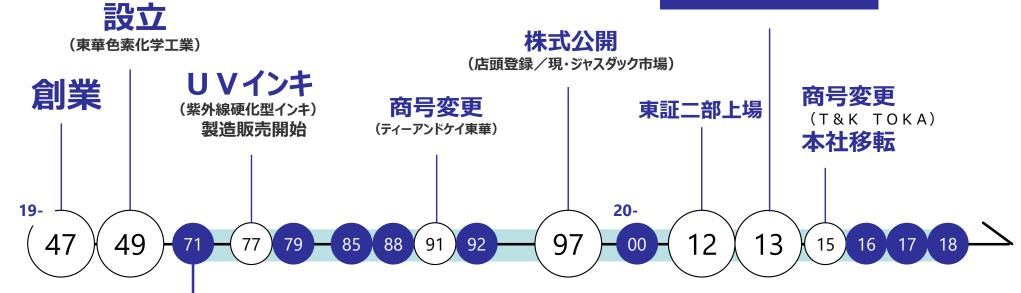
「独自のテクノロジー」で 「お客様にとって真によいもの」を提供し、 社会に貢献するを表しています。 東京中華

創業者は戦前、 中国でインキ業に携わっていました。

帰国後、**中国との架け橋になりたい** との想いから、名付けられました。



## 東証一部上場



### 海外現地法人の設立

1971年	インドネシア	2000年	サウジアラビア
1979年	韓国	2016年	タイ
(香港には	:1969年より支店開設)	2017年	オランダ
1985年	香港	2017年	アメリカ・ニューヨーク
1988年	中国·浙江省杭州	2018年	中国·浙江省嘉興
1992年	バングラデシュ	2018年	アメリカ・イリノイ



#### 印刷インキ + 精密分散品・機能性樹脂 メーカー

#### 印刷インキ

- ■パッケージ印刷用途
- ■出版·商業印刷用途
- ■その他印刷用途

UVインキ・植物油インキ その他インキ

#### 機能性材料

- 精密分散品 FPDカラーフィルター用途 光ファイバー用途
- 機能性樹脂 接着剤用硬化剤等

印刷用UVインキ国内トップシェア

アジア各国において当社の製品ブランド "UV 161" がUVインキの代名詞化 多数のディスプレイブランドで採用

光ファイバー用UVインキ国内トップシェア

土木・建築から電子材料、自動車、 航空機・宇宙まで幅広く採用



#### UVインキ

UV(紫外線: Ultra Violet)の照射により瞬時に乾燥するインキです。紙・フィルム・PETなど様々なものに印刷でき、紙パッケージ・食品包装材・ラベル・クリアファイルなど多様な用途があります。

## 平版インキ

平版印刷(オフセット印刷)のためのインキで、書籍・チラシなどの 出版物の印刷に広く用いられます。

## その他インキ

上記以外のインキです。フィルム等の軟包装材などを印刷する凹版印刷(グラビア印刷)のためのグラビアインキや、飲料缶などのための金属インキなどです。

## その他

機能性樹脂などの、その他の製品です。機能性樹脂は、自動車や船舶の塗料、橋梁・道路などの土木建築用接着剤、半導体など電子部品の接着剤などに用いる合成樹脂です。

### 商品

他社製の印刷機や印刷関連資材などの仕入販売による売上です。





#### ■連結損益計算書(百万円)

	20.3期	21.3期	22.3期	増減額	増減率
売上高	48,217	42,205	44,456	2,251	5.3%
売上原価	39,410	34 ,386	36 ,063	1,676	4. 9%
70.11.1水仙	(81.7%)	(81.5%)	(81.1%)	( ▲0.4 % )	
売上総利益	8,806	7,818	8,393	574	7.3%
	( 18.3 % )	( 18.5 %)	( 18.9 %)	( 0.4 % )	
販管費及び一般管理費	8,260	7,619	8,164	545	7.2%
双目貝及び 放目垤貝	( 17.1 % )	( 18.1 %)	( 18.4 %)	( 0.3 %)	
⇔¥11 <del>X</del>	546	198	228	29	14.8%
営業利益	( 1.1 % )	( 0.5 %)	( 0.5 %)	( 0%)	
経常利益	1,293	1,088	1,992	903	83.1%
	( 2.7 % )	( 2.6 %)	( 4.5 %)	( 1.9 %)	
親会社株主に帰属する	158	1,323	2,651	1,328	100.4%
当期純利益	( 0.3 % )	( 3.1 %)	( 6.0 %)	( 2.9 %)	

### ■連結売上高の版別内訳(百万円)

	20.3期	21.3期	22.3期	増減額	増減率
UVインキ	20,564	18,796	20,759	1,963	10.4%
平版インキ	11,345	7,494	8,030	535	7.2%
その他インキ	7,426	7,263	6,776	▲487	▲6.7%
その他	3,356	3,177	3,522	345	10.9%
製品計	42,694	36,731	39,088	2,356	6.4%
商品	5,523	5,473	5,367	▲105	▲1.9%
売上高合計	48,217	42,205	44,456	2,251	5.3%



売.	上高	444億56百万円	+5.3 %(前年増減率)
	■ 平版インキ	+ 5億35百万円	+ 7.2 %
	■ UVインキ	+ 19億63百万円	+ 10.4 %
	U V インキを中心とした印刷・	インキや硬化剤の販売が国内外向け共に堅調に推移しま	した。

営業利益 2億28百万円 + 14.8%

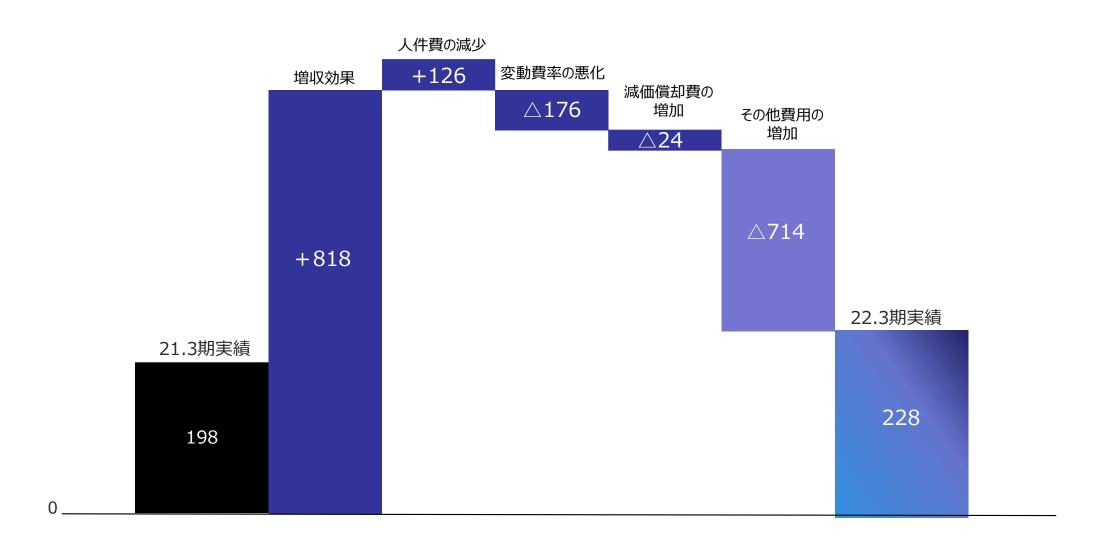
- ●原材料および物流コスト増加の影響を受けましたが、継続的に販売価格の改定に取り組みました。
- ●株式会社チマニートオカの売掛債権に係る貸倒引当金繰入額449百万円を計上しました。

経常利益	19億92百万円	+83.1 %
■ 為替差益	6億64百万円(21.3期 為替差損 2億82百万円	円)

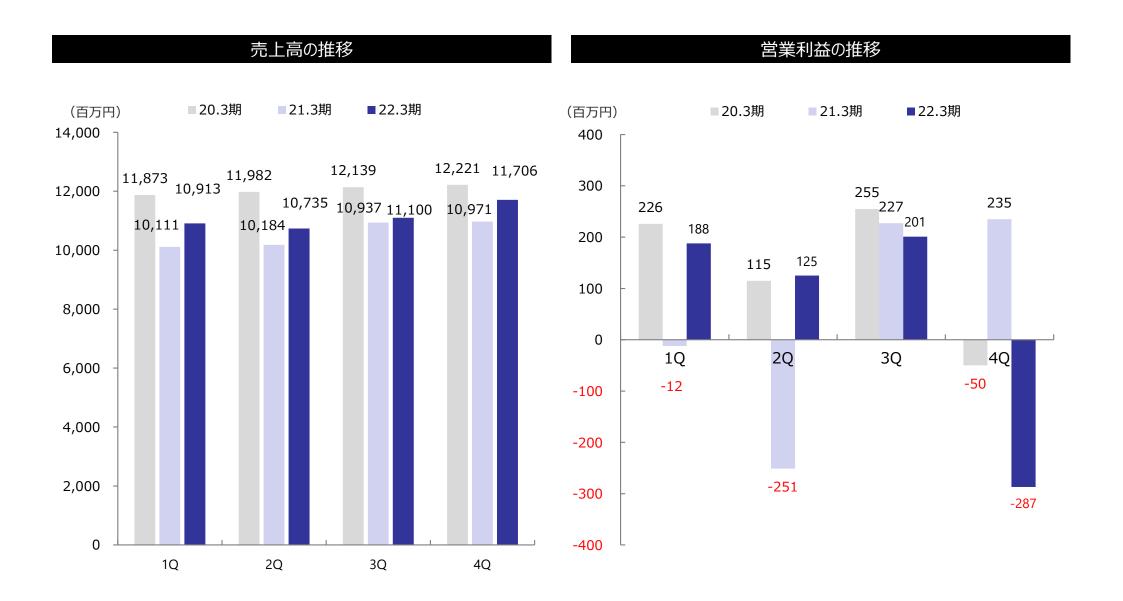
親会社株主に帰属する当期純利益	26億51百万円	+100.4%
■固定資産売却益	12億95百万円	



(単位:百万円)









(単位:百万円)

連結貸借対照表	20.3期	21.3期	22.3期	増減額
流動資産	33,814	31,161	31,341	179
現金及び預金	9,537	9,361	9,111	▲249
売上債権	15,694	13,948	14,349	400
棚卸資産	8,027	7,599	7,955	356
その他	571	276	406	129
貸倒引当金	▲15	▲24	▲481	<b>▲</b> 457
固定資産	34,135	36,273	38,965	2,691
有形固定資産	24,004	23,278	24,443	1,165
無形固定資産	353	452	460	8
投資その他の資産	9,777	12,543	14,060	1,517
資産合計	67,950	67,435	70,306	2,871
流動負債	18,991	17,585	18,433	847
仕入債務	11,333	10,095	10,543	447
短期借入金	5,425	5,306	5,151	▲154
固定負債	6,001	5,106	3,577	<b>▲</b> 1,528
長期借入金	4,038	3,061	2,249	▲812
退職給付に係る負債	707	243	255	11
負債合計	24,993	22,691	22,010	<b>▲</b> 681
純資産合計	42,957	44,743	48,296	3,552
負債·純資産合計	67,950	67,435	70,306	2,871

連結キャッシュ・フロー	20.3期	21.3期	22.3期	増減額
営業CF	2,527	3,227	2,295	▲932
投資CF	<b>▲</b> 3,484	<b>▲</b> 772	<b>▲</b> 1,056	▲284
財務CF	2,707	<b>▲</b> 2,643	<b>▲</b> 1,725	918
現金及び現金同等物の残高	6,534	6,315	6,159	<b>▲</b> 155



#### ■連結損益計算書(百万円)

	21.3期実績	22.3期実績	23.3期予想	増減率
売上高	42,205	44,456	46,470	4.5%
<b>士</b> L 巛 幻 ∪ ₩	7,818	8,393	8,870	5.7%
売上総利益	(18.5%)	(18.9%)	(19.1%)	
営業利益	198	228	1,180	416.7%
	(0.5%)	(0.5%)	(2.5%)	
経常利益	1,088	1,992	2,120	6.4%
<b>社市小金</b>	(2.6%)	(4.5%)	(4.6%)	
親会社株主に帰属する	1,323	2,651	1,390	<b>▲</b> 47.6%
当期純利益	(3.1%)	(6.0%)	(3.0%)	

#### ■連結売上高の版別内訳(百万円)

	21.3期実績	22.3期実績	23.3期予想	増減率
UVインキ	18,796	20,759	21,090	1.6%
平版インキ	7,494	8,030	7,820	▲2.6%
その他インキ	7,263	6,776	8,460	24.8%
その他	3,177	3,522	3,650	3.6%
製品計	36,731	39,088	41,020	4.9%
商品	5,473	5,367	5,450	1.5%
売上高合計	42,205	44,456	46,470	4.5%



売上高	464億70百万円	+ 4.5 % (前年増減率)
■ U V インキ	+3億30百万円	+1.6 %
■ 平版インキ	▲ 2億10百万円	<b>▲</b> 2.6 %

営業利益 11億80百万円 + 416.7%

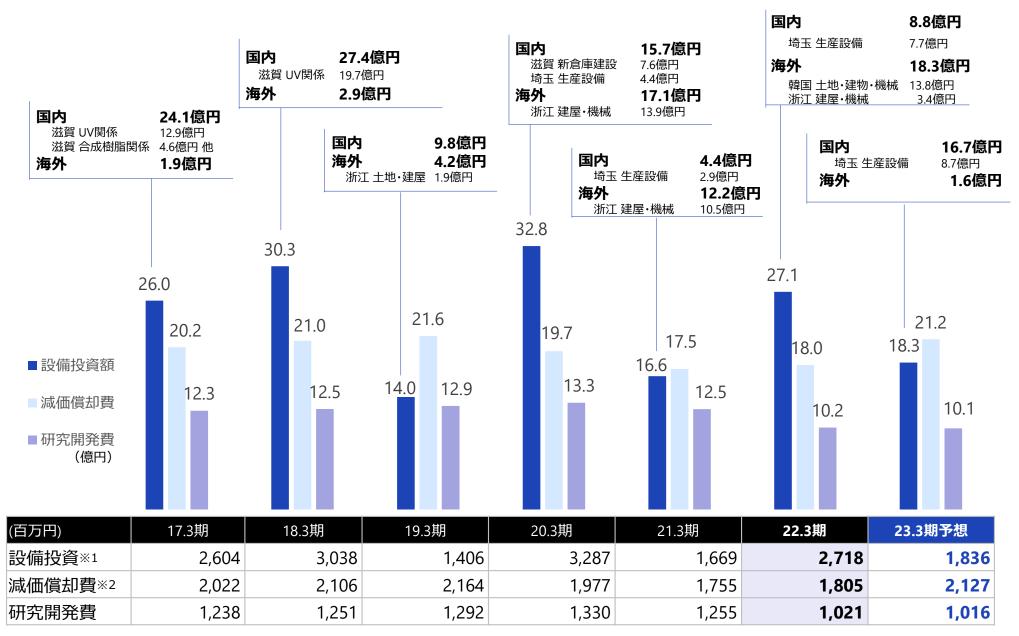
原材料等の仕入価格の上昇は見込まれるものの、高付加価値製品の拡販や適正販売価格への改定により増益の予想です。

予想営業外損益のうち主なものは持分法による投資利益です。

親会社株主に帰属する当期純利益 13億90百万円 ▲ 47.6 %

重要な特別損益は見込んでおりません。経常利益と当期純利益との差は、主として法人税及び法人税等調整額によるものです。





※1 竣工ベース

※2 リース資産の減価償却費を除く



#### ■浙江東華精細化工有限公司は2021年6月から試生産を開始しました

## 中国市場へのFPDカラーフィルター用着色剤等ファインケミカル製品の製造販売

- ▼2021年6月 試生産開始
- ▼2021年7月 一部製品の製造販売開始
- ▼2022年4月 工場操業許認可申請完了
- ▼2022年6月 本稼働を予定

中国における新型コロナウイルス感染症対策に伴い、工事の進捗及び政府当局による工場操業の許認可が遅れたため、2022年3月中の本稼働を予定しておりましたが、本稼働が遅延しております。



#### ■2022年度中の子会社清算に向けて準備中です

東華油墨国際(香港)有限公司は2021年9月までに実質的な活動を全て終了し、法的な清算に向けて手続き中です。2021年9月期末までに全ての 固定資産の売却が終わり、2022年3月期は固定資産売却益686百万円を計上しました。(2021年3月期に東華香港が計上した固定資産売却 益は501百万円)

Van Sonオランダの実質的な活動は2021年12月に終了し、法的な清算に向けて手続き中です。2022年3月期において、事業整理に関する損失として事業整理損206百万円を計上しました。なお当該地域の事業を当社および他の連結子会社に移管し、更なる拡販を進めて参ります。

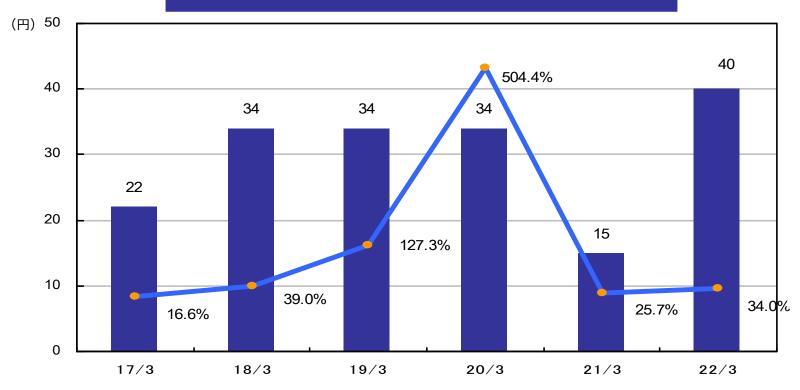
#### ■韓国特殊インキ工業株式会社固定資産の譲渡及び特別利益の計上

韓国特殊インキ工業株式会社が所有している分室(営業事務所)について、老朽化に伴う維持費等が増加していることから、経営資源の有効活用と 資産効率の向上を図るため、2022 年 3 月期第 4 四半期会計期間において、固定資産を譲渡し、特別利益として固定資産売却益607百万円を計 上しました。この譲渡に伴い、韓国国内に別途、新営業所を開設しました。



将来の事業展開に備えた財務体質の強化を図るとともに、業績に応じて安定的な配当を継続していくことを、配当の基本方針としています。 2022年3月期の連結配当性向は34.0%であります。

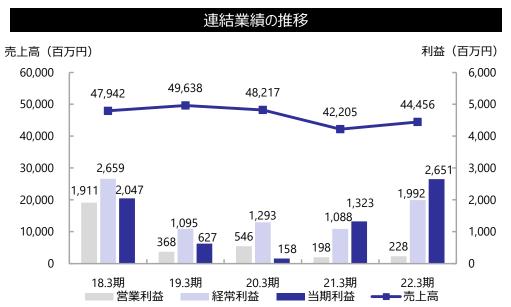
#### 1株当たりの配当金・連結配当性向(円、%)

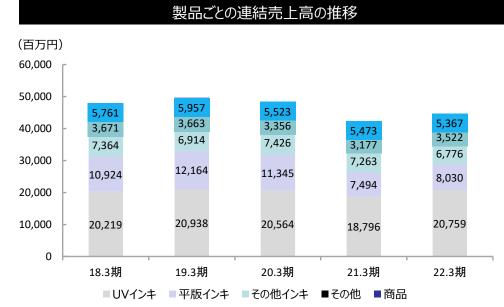


(百万円、千株)	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期
配当総額	516	799	799	799	337	902
発行済株式数	25,023	25,055	25,055	25,055	22,555	22,603

Ták Toka Coultd.



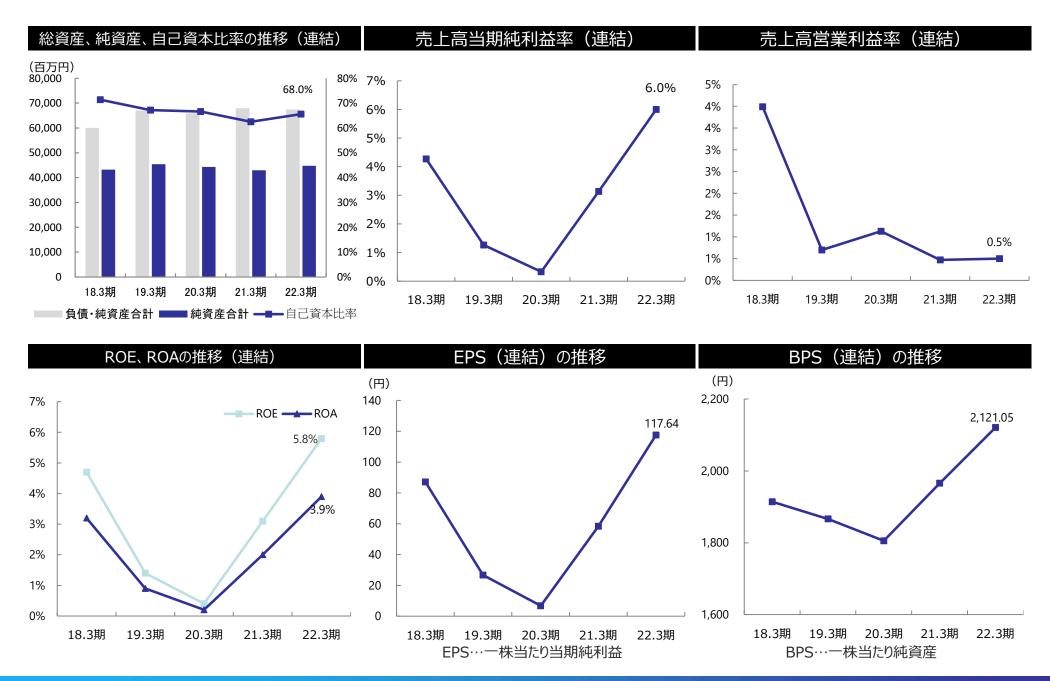




#### 地域ごとの連結売上高の推移 相殺消去後(百万円)

	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期
日本	34,895	34,419	32,885	28,160	28,825
アジア	10,963	10,900	10,570	9,677	10,547
その他地域	2,083	4,318	4,761	4,367	5,082
北米	1,219	2,626	2,968	2,701	3,068
欧州	473	897	1,137	983	1,159
その他	388	792	654	682	854







Corporate Slogan

## Technology and Kindness

#### 経営理念

「独自のテクノロジー」で 「お客様にとって真によいもの」 を提供し、社会に貢献する

#### 2030年ビジョン

個人と組織が共に成長し 社会から信頼される グローバル企業となる

#### 経営の基本方針

お客様起点で考え行動し、 価値を創造する

自ら成長に努力する社員を支援し、 成果を公正に評価する

事業活動を通じて社会課題を 解決する

**T&K TOKA** は、1947年に印刷インキメーカーとして創業し、製品群を印刷インキから精密分散品や機能性樹脂に展開してきました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすくていいものを提供していこう」という「まごころ」は75年経った今も、当社のDNAとして息づいています。

これは、100年後も変わらないし、変えてはいけないと強く思っています。

一方で「テクノロジー」。現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、より一層の変化が必要だと考えています。 チャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案していきたいと考えています。 このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

#### IRの問合せ先

株式会社 T & K T O K A 財務部 Tel 03-3963-0511 Mail ir.tk@toka-global.com

